

4 BCAO 関西支部 4 月度（第 109 回）勉強会議事録（案）

日 時：2016 年 4 月 19 日（火）19:00～20:30

場 所：大阪中央公会堂 No.3 会議室

■参加者：14 人（敬称略）

田中実、飯田清人、笹平康太郎、中村和弘、増穂稔、小山圭一、中村謙吾、佐々木志津香
林吉保、浦川健一、林孝則、中島憲昭、別役、鷺山

■司会：鷺山氏 ■書記：飯田

■テーマ：徳島現地視察、研修内容報告（日程：2015 年 11 月 27 日～28 日）

■議事録

1. BCAO 関西支部有志「徳島県」研修会概要：鷺山さん

- ・研修の目的、具体的な活動、訪問先、関西支部参加者、訪問行程など概要を説明。
- ・研修目的：南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、発生すれば甚大な被害が想定される地域の自治体、地元企業、各種団体等が、津波を含むリスクへの備えや事業継続(BCP)に取り組まれている現状を学び、連携を密にしながら今後の関西支部活動に活かす。
- ・具体的な活動：徳島大学の防災・BCP の取組について学ぶ、地元企業の BCP の取組について学ぶ、地元 BCP 研究部会との意見交換、企業訪問、防災施設等の視察、その他

【1日目】

2. (株)大塚製薬工場見学内容報告：中村さん

（質疑）

大塚製薬工場での津波の想定は何メートルか？

→海拔 3～4m+フェンス 1.2m、想定は 4m 程度ではないか。代替できないので、工場を守るという方針。

取組みはいつ頃からか？あるいは東日本大震災がきっかけか？

→それほど昔ではない。徳島県、徳島大学が BC に本格的に取り組みを始めたのは BCAO ができてからなので、約 7～8 年ではないか。相当お金をかけて対策を実施している。地域貢献という観点では、地域の緊急避難先として自社の社屋を提供するなど地域密着の取組みをされており、行政とタイアップしていることも大きい。

安否確認を地震、津波 2 段階で実施とあるが、津波発生時のメールはどのような仕組みで飛ぶのか。

→業者対応の話となるが、セコムは入手した津波情報に基づいてメールを手作業で発信する仕組みと聞いている。

3. 第8回BCP研究部会報告：鷺山さん

- ・目的：徳島大学環境防災センター第8回BCP研究部会においてBCAO関西支部による事例発表を行う。
- ・発表者・テーマ
 - 萩原氏 特定非営利法人事業継続推進機構：(BCAO) 関西支部の活動概要説明
 - 萩原氏 中小企業BCP策定実態と連携の必要性
 - 野原氏 職場に根づくBCP訓練についての考察
 - 田中氏 地域と防災 「社員は勤務先の防災及び事業継続だけでは動けない」
 - 鷺山氏 中小企業BCP策定の課題と支援企業の事例

4. 「徳島県の防災取り組み」(徳島大学環境防災研究センター湯浅助教)：鷺山さん

徳島大学 環境防災研究センターの取り組み
株式会社 亀井組の取り組み

【2日目】

5. 徳島大学環境防災研究センターの取り組み、(株) 亀井組の取り組み：田中さん

- ・場所 徳島大学環境防災研究センター
- ・出席者 徳島大学 湯浅氏、粕淵氏、株式会社亀井組 企画室 根来氏
- ・内容 ①東日本大震災後の社員によるBCP見直しと意識改革（講師：根来氏）
②災害時アクションカードを用いた訓練方法による幼稚園での津波避難行動の高度化（講師：湯浅氏）

6. 徳島県地域防災推進員養成スタートアップ講座 体験受講：鷺山さん

- ・目的：徳島大学環境防災センターと海陽会場との遠隔講義を受講し、状況を体験する。
- ・講義 ○講師 徳島大学教授 武藤裕則氏
○内容 「台風と集中豪雨に備える」(1、最近の水害の特徴 2、水害対策)

7. 現地視察：鷺山さん

- ・目的：徳島県の古い貴重な地震・津波碑等を視察。現地を訪ねることにより、当時の被害に想いを馳せ、教訓を活かし、今後の防災に役立てる。
- ・視察場所
 - ①豊浦神社「石碑」②赤石湾コンテナヤード ③日峯大神子広域公園、大神子海岸
 - ④蛭子神社「百度石」 ⑤春日神社「敬湔碑」

以上